

ポリファーマシー

多くの

薬

= 多剤併用

「必要以上に多くの薬を併用している状態」

5～6種類以上が多剤併用の目安

ポリファーマシーの問題点

1. 薬剤費の増大

- 患者さんが支払うお薬代としても
- 医療経済的にも



2017年度 国民医療費

約**43**兆円（過去最高）

薬局調剤医療費 国民医療費の18.1%

約 **8** 兆円

ポリファーマシーの問題点

2. 服用する手間

「お薬を飲むだけでおなかがいっぱい」

「飲み忘れてしまう」

「飲み間違えてしまう」



期待する薬の効果を得られない
副作用のリスクが上昇！

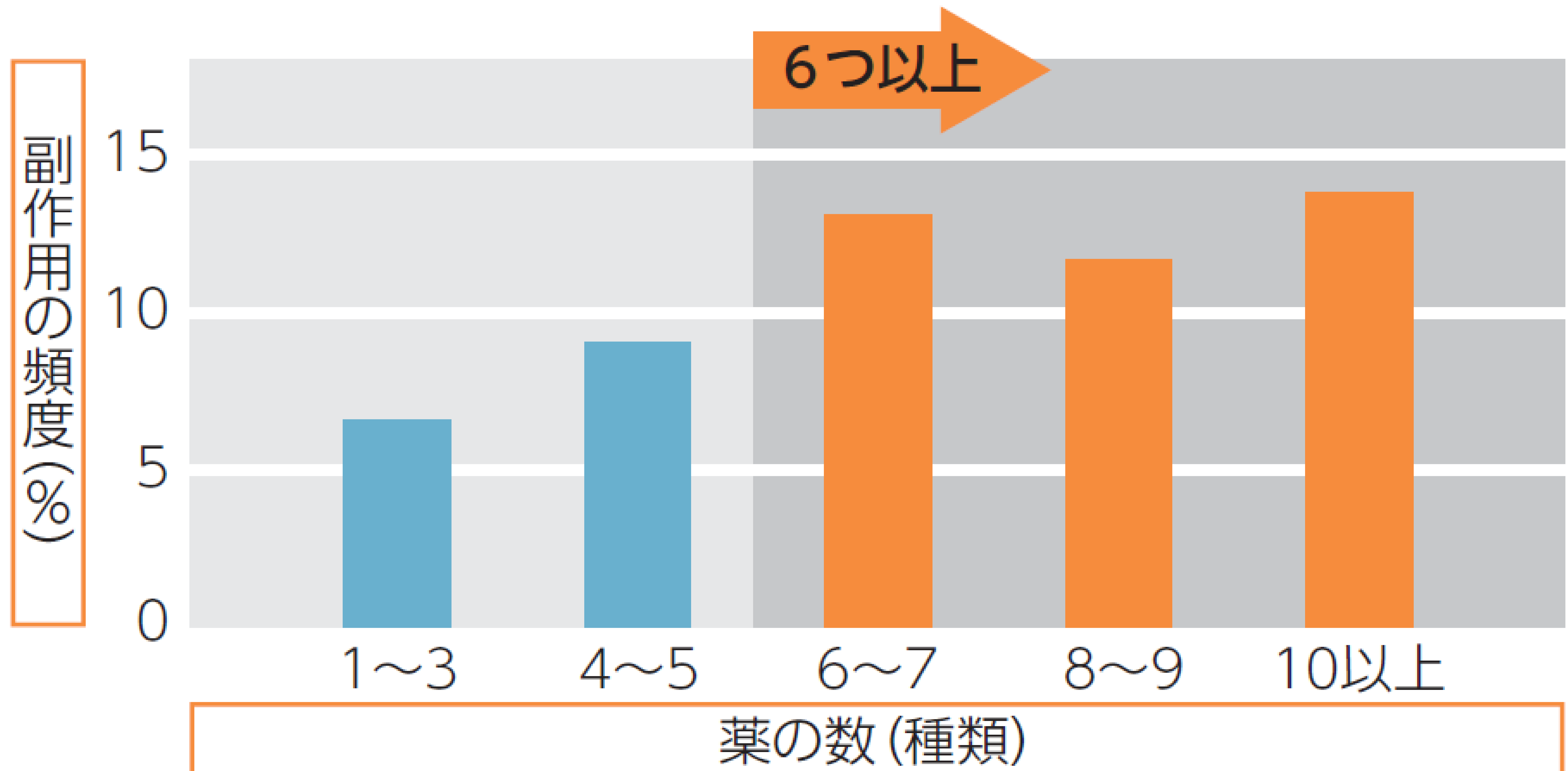
ポリファーマシーの問題点

3. 副作用の増加

- 薬の飲み間違いによるもの
- 相互作用（飲み合わせ）によるもの
- 加齢による薬の効き方の変化



薬の数と副作用の頻度との関係



Kojima T. Akishita M, et al. Geriatr Gerontol Int. 2012

適正な処方内容への見直し

- 同じ種類の薬を複数ののんでいないか？
- 病気ごとに違う医療機関にかかっている場合はサプリメントも含め正確に伝える
- かかりつけ医・かかりつけ薬剤師をもちお薬手帳も一冊にまとめて記載してもらおう

むやみに薬を欲しがらない！

- 医療機関は病気や健康を見てもらうところで、薬をもらいに行くところではありません。
- かかりつけの医師や薬剤師に薬の数と量について相談してみましょう。



薬と上手に付き合うためには？

要注意！

決して医師や薬剤師と相談なしに
お薬を中断しないでください！

